

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスセンターひかり苑			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 14日		～	令和7年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数)	21名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 14日		～	令和7年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 14日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムの立案と固定化しないような工夫	チームで必ずプログラムの立案を行っています。また固定化されないように、週で利用日数が多い児童へは週間の予定表を作成して、週の中でも様々な活動が提供できるように工夫をしています。	今後もチーム全体で活動の立案を行い、児童へ様々な体験ができるように工夫をしていきます。
2	重度利用者への対応	職員の9割が強度行動障害基礎研修または実践研修の受講をしています。	今後も外部研修へ積極的に参加をして支援の質の向上を行っていきます。
3	個別支援の充実	ご家族からの相談等から個別の支援内容の立案と実施を積極的に行っています。	将来に向けてさらにご家族と課題の共有や家庭での困りごとを吸い上げていけるように、連絡を密にとっていきます。また行った個別支援の状況を詳しくお伝えできるように工夫をしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の老朽化もあり、壁紙等が痛んできている。	老朽化	壁紙の張替えや掃除内容の再検討を行い、清潔な空間作りに今一度取り組んでいきます。
2	外部との交流	事業所内で行う活動内容と外部に出る活動内容の比率の見直しが出来ていない。	長期休みには、地域のボランティアの方を招いた活動内容の実施や外出や外食など外へ出るプログラムを実施しているが、今後は他事業所等と合同の行事等の立案を行い、外部との交流をさらに充実させていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスセンターひかり苑

公表日 年月日 令和7年3月14日

利用児童数 28名

回収数 21名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19			2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	1				
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20			1	支援プログラムが公表されていることを知らなかった。	ホームページにて公表を行います。またおたより等で周知していきたいと思います。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	3	4	11		
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	2	1	8	されていない認識です。	ペアレントトレーニング等はいっていない状況です。今後ご家族が参加できる家族支援内容を検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	21					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	2				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	5	3	11		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21					

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20			1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20			1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14			7	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14			7	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	1		2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21				
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	1		子どもはいつも通所する事を楽しみにしています。	ありがとうございます。今後も子供たちに楽しみにしていただけるように、様々なプログラムの立案や環境作りに尽力していきたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスセンターひかり苑		令和7年 3月 14日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		ひかり苑は、大きなホールに加え指導訓練室・個室が4部屋あります。お子様一人ひとりに合った過ごし方が出来るような広さになっています。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		基準人員（子ども5人に対して指導員1名）に対して常にプラス1名の職員配置を行っています。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		バリアフリー化されていない箇所に関しては、介助を行っています。また、大きなホールに関してはパーティションなどを使いながら児童の特性に合った環境作りに配慮しています。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝、掃除を行い清潔な空間になるように配慮しています。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		各個室やパーティションで区切った空間など児童が自由に出入りができるようになっています。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		いただいたご意見に関しては、全体に周知して業務改善に繋げています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に職員と上長で面談を行っています。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後、第三者評価を行っていきたいと考えています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に法人内での研修を行っています。外部研修にも積極的に参加しています。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページにて公表を行います。		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○				
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全体で、アセスメント等の会議を行っています。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		定期的に計画内容の周知を行っています。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿った内容を計画書に入れています。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○				
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		週の利用日数が多い児童に関しては、固定化されないように週間で活動内容を設定しています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼を行い、必ず当日の送迎や支援内容の確認、前日の振り返り等を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	翌日の朝礼時に振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		全体で定期的なモニタリングを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		おやつや選択や活動内容の中にも自己決定、自己選択の要素を入れ支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		基本は、児童発達支援管理責任者が参加をしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		その都度、情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	地域の子どもと交流するプログラムは立案できていませんが、地域のボランティアの方を招いた活動を長期休みに行っています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		光市地域自立支援協議会教育部会へ参加をしています。	
こ	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳やおたよりなどを通じて日々の様子をお伝えしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際にご説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付の窓口の設置や法人で苦情解決委員会の設置を行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的におたよりの発行を行い、苑内の様子・苑外での研修や取り組みの内容等をお知らせすると同時に、個別で児童の活動や日々の様子の写真をお渡ししています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人内の事業所で地域に開けた行事等を行っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		定期的に児童へ向けた訓練や職員向けの訓練を行っています。マニュアル等に関しては契約の際にご説明を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーのある児童は個別でマニュアルを作成して対応をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが出た際は、全体で共有をして再発防止に向けた計画を作り実施をしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年3回必ず虐待防止研修を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			